



月刊サカタニ友の会ニュース

発行(株)サカタニ  
集西薬・サカタニ  
ファミリーマート  
サカタニ京阪七条店  
〒605-0993 京・  
東山区七条こころ坂下  
・075-561-7974  
URL www.sosake.jp  
Eメール info@sosake.jp  
編集・酒谷義郎

### 消費税上げず 始末で乗り切れ

朝日新聞に8月18日、某内閣  
官房参与は、来年4月の消費税率  
3%引き上げについて「デフレの  
まっただ中に増税するのは間違っ  
た決定だ」と否定的な見解を示し  
た。そのうえで「来年4月から1  
%ずつ上げてはどうか」と述べ、  
5年間で10%に引き上げるのが  
望ましいとの考えを明らかにし、  
東京都内で記者団に語った。加え  
て同氏は「3%は大幅な引き上げ  
で実質所得を奪う。アクセルとブ  
レーキを同時に踏みリスクを我々  
は真剣に考えないといけない」と  
強調した。(年1%で3年も変える)  
アクセルを踏み続け、ブレーキ  
を踏まず、燃料(税金)使い過ぎ  
たのは絶対に庶民では無い。先  
ず、公共事業ありき、大企業優先  
政策を続けたのは「政府」では無い  
か!。中小売人や企業家は、節  
約と始末を続け、かつかつで生き  
続けてきた。  
『先ず魄より始めよと有る。』自ら  
は(役所・政治家)はそのよう  
にして来た胸を張って見えるか!  
その上に景気が落ちるから、又  
は民意の反発を恐れて、1%づつ  
3年に分けて増税と言つ。役所は  
言えば(書けば)済むことだが、  
小売人はそれは大変な負担だ。  
なるほどPC活用で、操作だけ  
で済むものも増えてはいるが、値  
札表示は「税込み」になっている。  
然も、全ての商品がバーコードが  
に対応している訳でない。その様  
な「商品の値札」の付け替えは人  
力ですることになる。然も「0時  
」真夜中」に税法は変わるのだ。  
この手間は1%づつだと3回も要  
するのだ。そんなことはチョット  
考えたら判ること。内閣官房参与  
なら相当の高学歴の人が選ばれ居  
る筈。目線が上で、下々のことは  
ご存じない。否、気にもしてない  
からこの発言になったと断定させ  
て貰つ。手伝つ気も無い!  
これに似たようなことは、今回  
だけではない。ヒョットしたら神  
代の時代から延々と続いてきた  
『支配者と被支配者』間の風習の、  
「控え目の表現でいえば」残像だ  
るか。そう言つて戦後暫く使わ

### 朝粥食べておシャベリ会 報告

第104回定例第3日曜日  
8月18日朝9時

お話・染色作家  
宮田昌幸さま



写真:上は  
宮田昌幸様  
左は、朝粥前のお  
話に聞き入る会場

氏は、染色職人として44年  
を経て現在に近年デニム、  
ジーンズ販売会社・京都デ  
ニムの「着物からジーンズ  
へ」挑戦に共感され、京都  
の染め抜きの技法を多用し  
たジーンズ」つくりをされ  
ている。経験談を戴いた。  
今や、京染めの技術と「ジ  
ーンズ」のコラボレーション  
いた。



### 2013

### 異常気象

もうお盆も過ぎソロン  
口終わって欲しい暑さ。  
今年には猛烈でした。日本  
は暑かったのに新疆ウイグルでは  
八月に突然雪が降り雪合戦が出来  
たそうです。(写真)モスクワで、  
ついに日中の気温が36度になつ  
た等々。世界中で異常な気象現象  
が続いてい  
ます。  
夏が暑いだ  
けでなく冬  
も雪が少な  
くなりまし  
た。かつて  
が繰り返して  
いるお方は一度「異常気象」で  
検索してみてください。地球が大  
変な状態だと判ります。1973年  
に小松左京さんが「日本沈没」を  
書かれましたが、このままでは遠  
からずそうなるかもと心配です。



新疆突降「八月飞雪」路人雪地中打雪仗  
新疆ウイグル自治区で突如  
降った「8月の雪」に通行人  
たちは雪合戦

### どんつき

「ご投稿を  
下さって

る「月三三さんの文(P4)を  
入力しながら、大いに反省し  
た。私は「思い込み」が着物  
を着ている程それが強い男。  
只、幸いなことに、小売  
人でそう世間様には大きな迷  
惑を掛けなくて済んできた。  
周りにいる人たちは災難かも  
知れない堪忍と詫びよう。  
FB(フェイスブック)を見てい  
ると、私よりもつと「思い込  
みの強い人」がいる。又、昔  
から居た!。それも大きな権  
力の有る人たちだから、始末  
が悪く被害も大きい。  
昔、蒙古の軍船が九州を襲つ  
た。偶々台風のお影で船が沈  
み勝つた形。それを「神風」  
と思い込んだ。海の無い国の  
敵も、自信過剰だったろう。  
明治の日清・日露の戦争に  
勝つた、負けた両国は内政に  
問題もあり、都合良く、仲介  
もあり早く終わった。勝つた  
としても敵の本国を占領無し。  
その神国の思い込み結果で  
敗戦。そして、津波の警告、  
6.4年丑年勝鬃無視し安  
全と思ひ込んだ原発事故。思  
い込みは大きな代償を払った  
思うことは、考える前提条  
件。思わないと考えない、が  
「思い込む」と考える幅が狭  
くなる。身動き出来ぬ満員電  
車の如し。我の反省で記した。

# ヨシイちゃんのひとりごと



## 運・鈍・根

### 第二話

前号の多額借金が ある酒会社 は現在地の向かい側にあった「京阪美酒販売(株)」。それは父が設立した「いづみ屋」と言ふ会社だったが債務整理で「東京酒大手小売会社」に二年程前に譲つたもの。その東京の親会社が潰れ、連鎖で経営が駄目になったのです。

当時は酒免許は厳しい制約があり、向かいに酒屋があると現在地私の住所では「酒屋免許」は絶対に取れない。幸い父が採用し私も信頼する女子社員Tさんと配送の社員もいて、私がこの会社を引き受けるなら協力し手伝つと約束して呉れました。私自身商売は酒に關つたことしか経験が無く、債務を引受けても何とか会社を手に入れた

いと思ひました。が、そのの株(百万円)は全て東京の親会社が持つていて早く手を打たないと他に譲られかねない。父は後妻が同意しないから金を出さないと断り、空家状態の「店」は貸すから使えませんでした。その頃、私の報酬少なく安価な「ハイニッカ」で晩酌「タバコ」もやめた程の激貧時代。家内に預金は幾らあると聞くと百一十四万余の通帳を見せた。安月給

のなかで良く貯めたと驚きながら「今、立たねば先が無い。百万呉れ」と取上げ、東京の親会社と話を付け会社を手に入れたのです。当時は、酒卸会社役員で「取締役の行為」も、上司に了解を得て、十月に会社は私のものになりました。引き受けたその会社の借金は九百万円、三年で弁済する条件でした。後から百二十万の税金滞納が判明しそれが加わり千万円超です。業務用のお得意先は、前会社のを細々と引き継いで販売し、昼は「酒卸」の役員、夜は飲食店の得意先訪問です。通常では借金返済資金で資金ショートします。そこで返済方法は回転差資金で切り抜ける計画をしました。仕入れは90日決済。現金売りを増やし手元に貯まる金を増やしました。

これは西武の堤清二さんが西武百貨店の「ロスとシスコ店撤退時「西友」を創つて收拾した戦法を真似ました。現金引換・配達なしの「ワンツースリーセル」で輸入洋酒等の特売です。物凄く売れました。更に、運の良いことに6

月ごろに年末に日本が石油で大変なことになるだろうとの話を耳にした。信じられなかったが。



石油ショック狂乱

# 今でしよ

## 石動敬子

「いつするの?」「今でしょ」が上半期の流行語大賞に選ばれたという。それで思いだした。福島は郡山市内の某小学校を訪問した六月を。

歌う復興支援ということで昔々の大学の合唱団の同窓会のとりに組みで地元出身のNさんと私が進めた話だった。半年程かけての準備だったがリクエストに「ビリーブ」があった。

「たとえ君が傷ついてくじけそうになつた時は、必ずそばがそばにいて支えてあげるよ。その肩を」 「いつ歌うの?」 のよびかけに「今でしょ」と返され、三百人の児童と私たち21名と地元の名声合唱断有志も加わり、涙の大合唱になった。

たとえば君が誰かが...と言う話でなく、「今でしょ」の震災その渦中からの叫びだった。「月曜日も来てね」と言われたが「また、いつかね」と別れた都において「などと異口同音に口走つてしまつ。二百個の阿蘭

梨餅もその気にさせてしまつたかもしれない。「そつだ・京都に行こう」と郡山を発つ少年少女、老若男女がこれから何人いても不思議で無い。

「明るい話題が少ないんで」とTVも新聞も取材に来ていたから。

そんな京都なのだ。世界の京都なのに、植物園の無料バスが70歳に引きあげられたり「敬老乗車証」の制度が改善されるのでは「マル」。そんなみみづちい話でなく、政治のプ口、のやさ

## ビリーブ

作詞・作曲・杉本竜一

1 たとえ君が 傷ついてくじけそうに なつた時は かならずそばが そばにいて ささえてあげるよ その肩を 世界中の 希望のせて この地球は まわってる いま未来の 扉を開けるとき 悲しみや 苦しみが いつの日か 喜びに変わるだろう アイ ビリーブ イン フューチャー

2 もしも誰かが 君のそばで 泣き出しそうに なつた時は だまって腕をとりながら 世界中の やさしさを いっしょに歩いてくれるよね この地球を つつみたい 今素直な気持ちになれるなら 憧れや 愛しさが 大空に はじけて 耀(ひか)るだろう アイ ビリーブ イン フューチャー

下の記事は 東京新聞の記事。 私のフェースブックの友達が付付して送つて来たものでです。 私も福岡の原発がまだ未解決なのに「東京五輪」開くとに賛成はしません その様な発想をする人、推進する人の気が知れないので、シェアしました。

自分の家族が、急病で苦しむ暇込んでいる隣の部屋へ、お客を招いて宴会をするようなもの。病人が嫌がるだけでなく来たお客さんに伝染する心配もありますよね。皆さんは、どう思いますか?

27 特報 2013年(平成25年)8月28日(水曜日)

### 本音のコラム

先日、次女トイレトイレットペーパーの芯を破すという失敗をやらされた。あつた思つたとき、は後の祭り。二十分ほど経つたとき、奥の部屋から「お母さん、トイレの芯が破れた。どうしていいかわからない」という声が聞こえてきた。私は「お母さん、トイレの芯が破れたら、新しいのを買い換えてください」と答えた。すると「お母さん、トイレの芯が破れたら、新しいのを買い換えてください」と答えた。すると「お母さん、トイレの芯が破れたら、新しいのを買い換えてください」と答えた。

### 壊れたトイレ

ちびっ子がトイレでトイレットペーパーの芯を破るという失敗をやらされた。あつた思つたとき、は後の祭り。二十分ほど経つたとき、奥の部屋から「お母さん、トイレの芯が破れた。どうしていいかわからない」という声が聞こえてきた。私は「お母さん、トイレの芯が破れたら、新しいのを買い換えてください」と答えた。すると「お母さん、トイレの芯が破れたら、新しいのを買い換えてください」と答えた。

# 京都&東山 ぶらりピカリ

42

## 秀吉と瓢箪

私の住む京東山のこの辺りは、豊臣秀吉公が「京大仏殿を造った時から発展した所。大仏殿の巨大石垣、朝鮮役の耳(鼻)塚、豊臣家滅亡の引き金になった「国家安康の鐘」もある。その「秀吉」の馬印が「瓢箪」私が卒業した貞教小学校の「校章」も千成瓢箪で、その上「豊国神社」ある。だが、高齢化が進み「街が淋しく」なってきた。そこで「町の活性化を目指すグループが創ら

## 京二学びっかん

### 五の二番の続

宇野正人



京都では、学生を「息の長い観光客」など呼んでいた。学生を

大事にするというより、観光客を大事にするといった方が、正確な表現になるだろう。その学生だけを相手にした、閲覧しや食堂などの商業もけっこう存在していた。下宿組の特徴として、当然のように、京都内外の名所旧跡巡りが盛んだった。仲間や個人で、よく散策している姿をみている。これは、京都ならではの光景かもしれない。下宿組と自宅通学組とは、どこでも、生活の時間帯が異なってくる。ゆえに、徒党を組んで、遊ぶとならぬ。いやでも区別するところ

れ「瓢箪」をシンボルにして昨年から動き出した。

まず第一歩として「ゴーヤ」の代わりに瓢箪をと提案、食べられる「瓢箪」を地域で植えていただいた。実が出来て、焼く、煮る、生で数組に分かれ試食をした。どれも「瓜」に似た口当たり、味はマアいけるなあ。の評価だった。私の組だけ「苦い」のがあったが食べた。深夜強い下痢、食用で無い瓢箪が混じっていたと判る。なんと人間のベロメーターの感度は凄い!。

になる。それは、自宅通学の京都市内の連中も、そつだった。仲間内で、京都市内から、通学している学生と、本主に親しい連中は、皆無に近かった。ただし、女子学生は別だ。女子学生に関しては、下宿組、自宅通学組の区別がなかった。不思議なものだ。しかし、当時、僕の知る限りでは、表立ってカップルになっている二人を探るのがかなり難しく、百人中、せいぜい、一組もいれば、大事だった。簡単に、いと、勉強やクラブに忙しく、特定の異性と付き合う暇もなく、その気もなかったというのが、少なくとも、僕の周囲の状況だった。一緒に遊ぶなら、同性の方が、面倒もなく、良いと考えていた時代だったかもしれない。

## 市電が走った 京都を巡る

福田静二

30



河原町今出川  
出川から

は2号系統の市電に乗り換えて、東へ向かいます。北側には名前を変えて今も建つ金融機関が並び、南側には、堀越しにつつそつとした木立ちが見えます。ここは「徳寺」というお寺で、事情あつて無人となり放置されたままです。もとを正せば伏見宮邸という公家屋敷でした。河原町通側には、その出自を思わせる、立派な門があります。いまは、ブルーシートで無造作に覆われ、金網で封鎖されています。料理旅館だった時代もあり、ここでクラス会を催した

こともありました。邸内は、数奇屋風の建物があり、広大な庭があったことも記憶に残っています。

河原町今出川の電停を出て、すぐにバスと車窓が開けます。鴨川に架かる、加茂大橋を渡るのです。左には賀茂川と高野川の合流点、三角州(鴨川公園)が見えます。その向こうには、北山、比叡山大文字山、東山が一望できます。右を見れば、鴨川が太い流れとなつてまっすぐに流れています。

いまも加茂大橋付近の河原はテレビドラマにもよく登場する。おなじみの場所で、鴨川には飛び石が設置され、京都の自然景観を実感できる場所として、いつも賑わっています。また、大文字の送り火観覧の絶好のポイントともなっています。

もともと、ここには橋はなく鴨川から東のエリアからは、もう一本北、現在の出町橋、河合橋を渡つて出町に入っていました。その後、昭和六年の市電の開業に伴い、現在の今出川通りが拡幅され、加茂大橋が架けられます。いまも橋は架橋当時のままで、十四基の石灯笼が載っています。

橋を渡り終えて、到着するのが加茂大橋の停留所です。八瀬、比叡山、鞍馬へ向かう叡山電鉄(当時は京福電鉄)出町柳駅の乗換え停留所となります。私も、高校は岩倉にある学校に通っていました

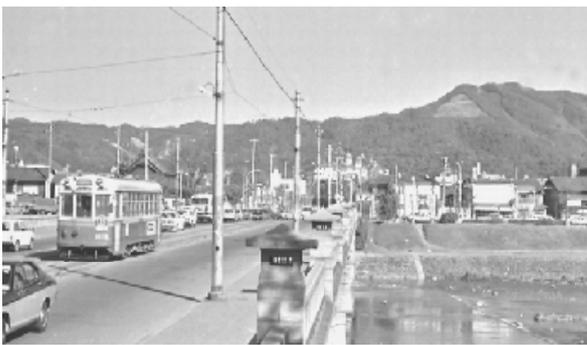


観電からの乗り換えて賑わう加茂大橋の停留所

ので、二年間、市電で加茂大橋で降りて、出町柳駅へ向かっていた。

ところで、最近「賀茂大橋」と標記する地図があり、「加茂」「賀茂」の両方が錯綜しています。橋のたもとの交番名や、京都バスの停留所名は「加茂大橋」であり、歴史的に見れば、「加茂」ですが、鴨川の上流部分の表記である「賀茂川」に引張られて、「賀茂大橋」が勢力を強めているようです。現在では、京阪電鉄鴨東線が延伸されて、京阪出町柳駅ができ、乗り換えの利便性がぐつと向上しました。市バス停留所名も出町柳駅前に変更されていますが、加茂大橋から見る風景は、市電時代と変わらず、街の中心にあつて、自然の光景がそのまま残されているのは、いかにも京都だと思います。

大文字山を望みながら加茂大橋を渡る



# 酒屋で生きて 生かされて

## 第八十一話

### 父が店を継ぐ (酒屋二代目)

祖父が  
昭和20年  
9月2日



に亡くなった。病状が重く、終戦後なので疎開地から一時戻っていた私は臨終の姿を見た。人が死ぬというのはこんなにも呆気ないものなのかと思つ程静かに逝つた。強烈な天理教の信者だったから「出直し」と言つべきかも。

商売は「酒屋」の「飲み屋・国民酒場」をしていただけだが、酒類は統制で殆ど入荷せず、箸や代用石鹸、歯磨き粉を売つていた。店の人は番頭も下種も全盲兵隊に採られたれも居なかった。父も兵隊に行つたが病気で戦時中に兵役免除になり、「軍用調達」の仕事をしていた。戦後もその繋がりを使って、当時手に入れにくい物を(酒も)仕入れ、祖父が手に入れ新築した飲食店の店現当社の東側部分)を祖母が店主になって再開した。

酒の販売は戦前から「税務署」の厳しい管理下だったが、戦後一年半ほどの時期は「空白」のような状態だったらしい。今までは背後に「日の丸があったのが、全部「マッカーサー」の率いる占領軍によって代わられ混乱していたのだ。



父は軍のルートと戦前からの仕入先から「原酒」を「闇で」で仕入れ「割り水」して飲み屋部分で売つた。酒の「アテ」の主なもの山科の肥屋さんから届く野菜だったが、時々「ハムやソーセージ」もあつた。それは、知り合いが「米軍の陸軍病院」(現第一赤が接

## 夏過ぎて〜冬が来る 月三天

「春はごそや秋もごそ」などと、皮肉を詠みたくもなる様な移り変わりですね。さて皆さん、八月をどのように過ごしましたか？  
うちはクーラーを入れたのですが、暑間は暑くて図書館などに避難してました。そんな中見付けた本の内容を、私なりに砕いて紹介いたしますよ。といっても、脳科学だのなんだのという本なのでが……

脳というのは、常に思い込みで成り立っているそうです。例えば、ポットは「ここにあるはずだ、ここからは自転車は出て来ない。などなど、思い込みと注意力は類似せ

収)の賄い方に勤めを持つてきたものを使っていた。「つまみ食い」をして「アメリカはこんな美味いものを食べているんだと驚いたものだ。

戦後一年位過ぎると、少し落ち着き、キツチリとした配給制度が再構築された。戦時体制の「企業整備」で廃業された酒、醤油・味噌を販売していた店を復活させることとなった。

配給の購入先世帯を「規定」の数を集めた商店にのみ醤油味噌(塩)販売に許可や酒の免許を交付する方法が採用された。

ず、だからこそ、ポットがそこにないと、真後ろにあるにも関わらず探しまわったり、出てくるはずもない所から自転車が出てくると冷やりとします。『はず、いやいや、はずなんて言葉、動くものに対して遣つもんじゃありませんね。だって、動くんですもん。そんな時の注意力と思われがちですが、気付く時と気付かない時の割合は半々だそう。脳の思い込みは、見えている物を時には見えなく、大きな事故を引き起こす原因となります。』なぜ、そんなに大きくなりますか？

戦争前に「酒統制会社・酒造」協同組合に絞つた卸流通を大手問屋に「甲酒卸免許」与え復活した父は兵役前その統制会社に居た関係で「日本酒類販売(株)」の下請けを引き受け、酒小売店とは別の場所「酒卸」に参加した。また、米も政府の統制、日本酒の醸造量も少なく「売り手市場」だった。随分収益を上げていた。

昭和24年「酒卸免許制度」が出来て「父から、酒卸を申請したい」と相談され、私は反対したが、父は「免可が下りるかどうかが判らないが申請する」といった。

て、ある人と「思つ」と「想つ」の違いについて話しました。そこで出た答えは「思つ」とは脳が考えることで、それは確かなことであつて非常に不確かでもあるという。想つは、心が感じることで、あやふやではあるけれど、意外と的外れていないといつてよい。

人の脳は、一度注意を促がされても、一週間何も起きないと注意しなくなるそうです。しかし、一週間経つと、それが普通になつてしまします。昨今の異常気象、さ

## 編集後記

先のお月は終戦記念日があつた。長寿が増えたと喜んでいただくと戦争を知っている世代が減りだした。当時、国民学校6年の私も79歳。その私が5年生の月16日深夜に死者41名もた東山区「馬町」が爆撃された。京都は西陣も爆撃されたが碑が出来てゐる。

馬町には文写真はあるがそれだけでは忘れられると爆撃を受けた地域に碑を創ることに話に付き私も世話役を引き受けた。

その事は、何度かの集会和、地域の方々と相談して進め、碑の資金の問題を越えれば、来年の爆撃の日「記念碑の除幕式」が出来たことになり至つて。

八月は終戦記念日の月、馬町爆撃が話題として29日NHK京都TVに放映、読売京都版にも掲載され撮影取材に時間をとられ、とんからりんの作成が遅れた。

メンタに遅れて配付したとんからりんがらりんだが、そんな事情なのでお許しください。張音は言ったくないが書かざるを得ない。自分では冬も若く「元気で働いて」がTVに映し出された自分を覚えて驚いた。背は丸くなり、頭に天辺は毛が薄くなった。10分間に聴いたことだ。桑原くまはらさん

て、ある人と「思つ」と「想つ」の違いについて話しました。そこで出た答えは「思つ」とは脳が考えることで、それは確かなことであつて非常に不確かでもあるという。想つは、心が感じることで、あやふやではあるけれど、意外と的外れていないといつてよい。